

活動名	ひろしま子ども議会 2015 ～ひろしまの未来を考えよう～	団体名	一般社団法人 広島青年会議所 子供の自立育成委員会
		地域	広島県広島市
		代表者	委員長 庄子 佳宏
		支援金額	25万円

活動概要

「10年後の明るく豊かなひろしまのために」をテーマに子供たち自らがひろしまの未来について考え、広島市に提言を行う事業です。「観光」、「文化」、「環境」、「教育」、「まちづくり」のキーワード別に5つのグループを組織し、3回の委員会を行い、それぞれ今のひろしまの魅力や問題点を協議し、現地調査やアンケートを行い、自分たちの夢やまちの未来を考え、提言書にまとめた。広島市議会議場にて提言を行い、それに対し、市長や各局局長より答弁をいただいた。また、子供たちの今後の行動の目標を定めた宣言文を作成し、発表を行った。その後、広島駅前南口広場にて、公開報告会を行い、自分たちで作った提言書を発表し、一般市民の方々にも市政や議会について考える契機としていただいた。

◆実施時期

①第1回委員会 6/6 13:00～18:00、②第2回委員会6/20 13:00～18:00
 ③第3回委員会 6/27 13:00～18:00、④ひろしまキッズ議会予行演習・キッズ議員認定式・本会議 7/11 10:30～17:00、⑤ひろしまキッズ議会公開報告会 8/22 13:00～15:00

参加総人員：4,167名



広島市議会議場にて、ひろしまの現状と未来に対する考えを発表



松井市長や担当局長からご答弁をいただく



提言内容と思いを広島駅南口地下広場で一般市民に向けて発表



一般市民の前で広島市長に採択された宣言文を発表

◆実施に伴う効果

この事業での経験を糧に、子供たちには将来に対する責任意識を強く持ち続けて、広島のみちを支えるヒーローになってもらいたいと願っている。また子供たちのこうした取り組みを受けて、一般市民の皆様にもより一層みちへの関心を強める契機としていただけたらと考えている。

◆苦勞した点

広島市教育委員会や広島市小学校校長会、また各学校を訪問して事業概要を説明し、市内の小学校6学年の児童に募集要項を配布。直接参加奨励を行った学校は効果を得られたが、広島市教育委員会を通しての配布は児童の手に届くまでに時間を要し、期待した効果は得られなかった。

◆今後の課題・発展の方向性

- ①参加者募集では校長会で事業説明を行い、広島市教育委員会を通して募集要項を配布した。配布時期は学校毎に差があるため、できるだけ学校に赴き直接働きかけることがお勧めである。
- ②広島市議会、広島市教育委員会、広島市各部署とも対応に差がある為、相手側の窓口を1つにして意思疎通や調整をされることがお勧めである。
- ③マスコミ対応において、広島青年会議所、行政が各自で対応した為、受付対応がスムーズに行えず、取材陣に同じことを2回確認したり、対応した担当者によってアナウンスが相違するという事態が発生した。事前に行行政側とマスコミ対応について意思統一を図ることがお勧めである。
- ④新聞やテレビのニュースなど、メディアに取り上げていただいたことで事業に参加していない多くの人からも反響があった。一般市民への伝播の方法として非常に効果的だと考えられるので、各種メディアに積極的に働きかけることがお勧めである。

◆活動を終えての感想・意見等

本事業に参加した子供たちは本会議での提言に向けて3回の委員会協議を重ね、広島の問題点の解決策を提言書にまとめました。市の職員の方やJ Cメンバーが行ったレクチャーを基に子供たちは積極的に委員会協議を行いました。保護者からは「家でも色々な事を提案するようになった」という言葉をいただきましたが、これは本事業を経験した子供たちが、身近なまちの問題点に興味を持ち、問題の解決に向けて考える思考を持ったからだと考えます。また、子供たちは10年後の広島がより良いまちになるために、自ら考え、自分たちができる事を行動指針として宣言文にまとめました。参加者アンケートでは「10年後の広島の事を自分の事として考えられた」「市長になりたい」「JCIの人になりたい」「広島のみちをもっと良くするために今後も考えたい」と多くの前向きな感想が見られたことから、子供たち自らが社会の未来を作り上げていく責任意識を醸成する一助となったと考えます。

第2回委員会にて行った街頭アンケートでは、2人1組でお互いを励まし合い、多くの人々の声を聞くことができ、「たくさんアンケートを取れた」と笑顔で話してくれました。そして、提言書の作成ではお互いの意見を出し合い、他者の意見を認めながら提言をまとめました。参加者アンケートでは「たくさん友達ができた」「みんなで1つの事ができた」と多くの子供たちが書いており、お互いに協力し支え合って目的を達成するという喜びを感じてくれました。

事業実施後、市内の小学校にダイジェスト映像と報告資料を入れたDVDを配布しました。その資料を基に授業を行っていただき、多くの児童に広島のみちの将来について考えてもらいました。また、各種メディアに取り上げていただいたことで、一般市民の皆様にも事業を周知することができ、公開報告会ではパネルや映像の展示にて事業の目的や成果を広く発信し、多くの人がまちについて考える契機となりました。